

煙草という商品是一種の嗜好品である。そして、喫煙は幅広い生活習慣である。現在の中国が世界最大の煙草生産国かつ最大の煙草消費国になった理由は、世界一の人口を有するからだけではなく、その底に伝統的な喫煙文化があるからであろう。本報告、煙草企業の競争を通して、近代中国における煙草市場の実態を解明することが目的である。

・ 研究背景

中国の「近代」は時期的に言えば、1912年中華民国の成立から1949年中華人民共和国の成立までの約40年間であった。この時期は世界史からみれば、日本を含む帝国主義国家が、半植民地国家であった中国に対し、露骨と巧妙さとを交錯させつつ、支配・収奪をした時期である。国内では、封建的・買弁的ブルジョアジーと地主勢力との結合を基礎として成立した国民政府が、帝国主義に対して依存と妥協をしつつ国共内戦を行い、同時に権力を駆使して強大な「官僚独占資本」を形成した時期でもある。

このような大きな環境の下で、民族資本の煙草業者のみならず、多数の外国系煙草業者は中国市場に進出してきた。その中で多国籍企業の英米煙草会社は最大の規模を誇る。そして、東亜煙草会社は日本資本の煙草業者の代表として中国市場に進出した。これらの外国事業者は生産原料や完成品の煙草を外国から輸入するのみならず、現地生産にも踏み切り、現地での葉煙草の買付や巻煙草の製造販売を積極的に行っていた。

・ 研究目的

近代中国における煙草市場の実態を明らかにすることを目的とし、歴史学の視点をもって、嗜好品としての煙草の文化的側面を提示する。

・ 研究方法

本研究は一年五ヶ月にわたる史資料調査・分析の研究である。調査史料の都合で本研究の取扱う地域は、満洲（現中国東北地方）と中国の華北・華中地方である。また、対象として、中国民族資本の南洋兄弟煙草会社、多国籍企業の英米煙草会社、日本資本の東亜煙草会社を中心に検討を行う。

・ 研究結果

1) 煙草市場の企業別シェア

①満洲市場

満洲国建国前、英米煙草会社は最も有力であった。東亜煙草会社の販売量は英米煙草会社に及ばなかったが、両切紙巻煙草のみを生産していた英米煙草会社と南洋兄弟煙草会社に対して、口付紙巻煙草を生産し、満洲市場での口付紙巻煙草を独占した。

満洲国建国後、南洋兄弟煙草会社は完全に満洲市場から姿を消したため、満洲煙草市場では英米煙草会社と東亜煙草会社が競争した。

②華北・華中市場

華北市場において、済南と天津の例では、煙草の販売方式は委託販売であった。その中で、英米煙草会社と南洋兄弟煙草会社は独占的な地位を占め、東亜煙草会社は影が薄く、ただ少量の商品を居留民に供給するに過ぎなかったことが明らかになった。

華中市場において、上海の例では、外国企業は資本力で、民族企業に対し圧倒的な優位を占めている。そして、英米煙草会社は中国の民族資本業者や日本の煙草業者を屏息させ、ほとんど独り舞台の感があった。

2) 煙草産業が国の財政に果たした役割、中国社会に対する影響

煙草税は政府の主要な歳入源の一つである。1937 年中国国民政府の非借款歳入を示せば、総額の 870 千円のうち、煙草税は 110 千円で、総歳入の八分の一を占めていた。

3) 三つの企業で生産された煙草の消費差

煙草消費の大きな差が煙草品目に現れている。満洲全体の煙草消費を品目別に見ると、消費頻度の高い煙草上位 10 の内に、英米煙草会社の製品は 7 つを占めている。このような消費の差は嗜好品文化について、中国の伝統的な消費観念を示すことができるだろう。

4) 各社製品のイメージ、訴求ポイント

英米煙草会社：外国葉煙草を使用した高級品であることや、品質の良さ、値段の安さをアピールしていた。

南洋兄弟煙草会社：①国貨購入の呼びかけ、②慈善活動・文化活動の広告（人心を捉えようとした）

東亜煙草会社：国産品であること、戦争支援や国貨購入の呼びかけを主とした。

【主な参考文献】

- 1) 『満洲日報』『満洲日日新聞』（1909 年～1943 年）
- 2) 『申報』（1912 年～1925 年）
- 3) 大正十五年四月五日附在済南藤田総領事報告「済南貨物集散概況（最近四年間）」『日刊海外商報』第 464 号、128 頁。大正十四年七月一日附在済南吉澤総領事報告「煙草需給状況（済南）」『日刊海外商報』第 213 号、110 頁
- 4) 大正十三年七月十九日在天津吉田総領事報告「東亜煙草株式会社営業現況報告の件」JACAR. Ref. B10074098100（外務省外交史料館）
- 5) 昭和八年三月二十三日附在上海上谷商務参事官事務代理報告「上海の支那商卷煙草工業現状」外務省通商局編『海外経済事情』第 6 年第 24 号、36 頁
- 6) 尾崎英二「中国の煙草」『財政と専売』第 11 号、大蔵省専売局、1949 年、9 頁